

友愛援助事業で海外への援助も

紛争や貧困、自然災害など苦しい状況の中で教育を受けられなかったり、苦しんでいる子どもたちが大勢います。世界の子どもたちのために何か支援できることはないだろうか。みなさまの声に応じてつくられたのがベ



1冊の本は、未来への扉です
ラオスのこども



難民キャンプの子どもたちは図書館にある絵本が大好きです
シャンティ国際ボランティア会



カブール郊外で識字クラスを受ける女性たち
日本ユネスコ協会連盟

ルマーク運動の友愛援助です。自分たちの備品購入をちょっと控えて、ベルマーク預金を直接寄付にあてる仕組みで、1998年にスタートしました。



始業前や業間休みの時間に、保健衛生について学びます
ジョイセフ



東ティモールの学校にて歯みがきの啓発活動を行う保健委員会の子ども
シェア



ふるさとが緑豊かになるよう祈りを込めて、苗木を植えています オイスカ

友愛援助事業では、海外の子どもたちの教育支援や食糧・生活支援などを行っている団体への援助を募集しています。募集期間は4月から翌年1月まで。詳しくはホームページまたは各校へ送付している友愛援助寄付申込書の用紙をご覧ください。

写真は第20回の友愛援助事業のもので、アフガニスタン、ラオス、フィジー、東ティモール、タイ、マダガスカル、カンボジアの7カ国を対象とした援助を募集しました。



©WFP/Volana Rarivoson
学校に着いたら友達とまず朝ごはんの給食を食べます
国連世界食糧計画WFP協会



©UNICEF/2015/Giacomo Pirozzi
障がいにかかわらず、すべての子どもたちが学べるように
日本ユニセフ協会

こんな海外援助のボランティアもあります

絵本を届ける運動

貧困や紛争によって本に触れる機会が乏しいアジアの開発途上国の子どもたちに絵本を送ろうと、翻訳シールを貼って母語で読めるようにして届ける運動です。

ベルマーク運動に参加登録している中学校・高等学校を対象に翻訳シールを貼ってくれる学校を募集して、各校25セットを作ってもらいます。

※絵本セットの費用は財団が負担。出来上がった絵本の返送費用のみ学校負担になります。

